

若汐（創意の時間）・生き生きタイム（総合的な学習の時間）活動案

長島町立汐見小学校

ア 単元

「海にとびだせ」

イ 単元について

長島町は雄大な自然と豊かな人情に包まれた素晴らしい土地である。しかしながら若者は町外や県外に就職し、過疎に悩んでいる一面もある。子どもにとっては最も身近な日常生活の場であり、様々な体験をとおして生きる知恵を学ぶ場でもある。

郷土のことについて体験的に学習する機会は子どもにとって地域の人々のおもいや願いを肌で感じる活動になると期待でき、自分の生まれた郷土について新たに誇りや感謝する気持ちをもつことができると考える。そして、新しい長島町を支えるこの子どもたちにとって、郷土のことを調べ、考える活動は生涯学習の観点から自分の生き方と共に郷土の未来を考える上でも重要なことであると考えます。

子どもはこれまで野菜作りで縦割り班による異年齢集団の活動を経験して思いやりの心やコミュニケーション能力を身に付けつつあるが、まだ充分であるとは言えない。また、子どもの大好きな海とふれ合う活動をとおして、郷土を愛する心、自然を大切にすることを育てることができると考える。さらに様々な困難に立ち向かうことで、近年低下が危惧されているたくましい体、強い心の育成にも役立つのではないかと考える。

そこで身近な郷土について、より深く理解し、郷土を愛する気持ちを培うことのできるような活動を設定し、子どもが様々な体験活動に主体的に取り組む機会をもつことは子ども自身がこれからの生き方を考える上でも大変意義深いことであると考え、本単元を設定した。

ウ 単元のねらい

- (ア) 長島の海とふれ合う活動をとおして、郷土を愛する心や自然を大切にする心を育てるとともに、たくましい体、強い心の育成を図る。
- (イ) 異学年や地域の方々との交流をとおして、思いやりの心やコミュニケーション能力を身に付け、自己の生き方を考えようとする態度を育てる。
- (ウ) 自分たちの調べたことを様々な方法によって発表することで、自己表現技能の向上を図る。
- (エ) 様々な方法で課題について調べる活動をとおして、課題解決の方法に慣れることができるようにする。

エ 各教科・領域との関連

生活科

「ぎらぎらおひさまげんきいっぱい」1学年

- ・ 夏の自然に触れる。
「自然のなぞなぞ探そうよ」 2 学年
- ・ 山や川、海の自然に触れ、気付いたことをまとめる。

- 社会
- 「みんなこの町が好き」
 - 「町の土地のようすを調べよう」
 - 「わたしたちのくらしと商店」
 - 「町の人々の仕事の工夫」
 - 「安全なくらしを守る」
 - 「健康なくらしを守る」
 - 「町の人々のくらしのうつりかわり」 ※中学年
 - ・ 長島町のことについて調べ、分かったこと考えたことを発表する。

- 理科
- 「気温と天気の変化」 14年度5年
 - ・ 天気や気温について調べること環境について関心をもつことができる。

海にとびだせ

- 国語
- 「ぼくんちのゴリよく見てかこう」 1 学年
 - ・ 観察して、その様子を文に表す。
 - 「今週のニュース」 2 学年
 - ・ 出来事を文で表し、発表する。
 - 「サンゴの海の生き物たち」 2 学年
 - ・ 自然のすばらしさを考える。
 - 「知っている場所を教えてください」 3 学年
 - ・ まとまりに気を付けて書く。
 - 「新聞記者になろう」 4 学年
 - ・ 伝えたいことをはっきりさせて書く。
 - 「海にねむる未来」 5 学年
 - ・ 海に住む生物の可能性について読み取る。
 - 「森へ」 6 学年
 - ・ 自然の壮大さ、命について考える。
 - 「言葉の研究レポート」 5年
 - 「がっくを作ろう」 6 学年
 - ・ 調べて分かったことを分かりやすく発表する。

- 生き生きタイム
- 「こんにちは、汐見校区の生き物たち」 13年度中学年
 - ・ 汐見校区の環境について調べ、分かったこと考えたことを発表する。
 - 「汐見の竹で遊ぼう」 13年度中学年
 - ・ 郷土の素材を使い、遊ぶ。
 - 「長島の昔を調べよう」 13年度中学年
 - ・ 長島の昔の生活について調べ、分かったこと考えたことを発表する。
 - 「汐見の海の生き物たち」 14年度中学年



・ 潟海岸の生物について調べ、分かったこと考えたことを発表する。

「お年寄りとふれ合おう～昔の遊び～」14年度中学年

・ お年寄りとふれ合いながら、郷土の素材を使い、遊ぶ。

「長島の昔を調べよう」14年度中学年

・ 長島の昔の生活について調べ、分かったこと考えたことを発表する。

「クリンThe汐見そしてワールド」14年度高学年

・ 汐見校区の環境について調べ、自分たちにできることは何か考える。

「長島の自慢は・・・」14年度高学年

・ 長島の産業・自然などについて調べ、分かったこと考えたことを発表する。

「私の調べたいこと」14年度高学年

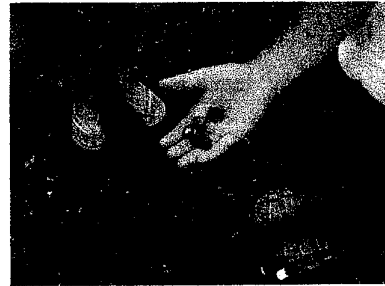
・ 生き生きタイムの経験を生かして、自分の興味のあることについて調べ、分かったことをまとめて発表する。

「お年寄りとふれ合おう～昔の遊び～」15年度中学年

・ お年寄りとふれ合いながら、郷土の素材を使い、遊ぶ。

「長島の自慢は・・・」15年度高学年

・ 長島の産業・自然などについて調べ、分かったこと考えたことを発表する。



オ 児童の実態

子どものおもいや願いをつかむためにアンケートを行った。(質問紙法, 5月7日実施, 全校児童31名)

1 あなたは海でよく遊びますか

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
よく遊ぶ	0	0	0	1	0	0	1
遊ぶ	2	3	3	0	1	2	11
時々遊ぶ	2	0	2	2	3	4	13
遊ばない	1	2	0	1	1	1	6

2 海でどのような遊びをしますか(複数回答)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
つり	3	0	1	2	1	3	10

砂遊び	5	1	4	1	2	1	14
貝取り	3	0	1	2	3	2	11
水遊び	5	5	4	2	2	5	23
その他	0	0	0	1	1	2	4

3 「海にとびだせ」でどのような遊びをしてみたいですか(複数回答)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
つり	2	3	1	1	2	5	14
砂遊び	0	2	1	0	1	1	5
貝取り	0	1	1	0	3	5	10
水遊び	3	4	2	3	1	3	16
その他	0	0	0	1	1	0	2

4 「海にとびだせ」でカヌー体験をしますが、楽しみですか(3年以上)

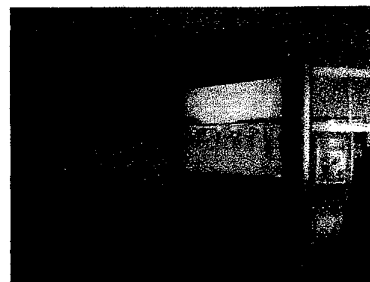
	3年	4年	5年	6年	計
とても楽しみ	4	3	2	4	13
楽しみ	1	1	2	1	5
少し楽しみ	0	0	1	2	3
楽しみではない	0	0	0	0	0

5 「海にとびだせ」で他にしてみたいことがあったら、自由に書いてください。

- ・ ペンに手紙を入れて海に流す。
- ・ 砂で大きな城を作る。
- ・ 海で泳いだり、潜ったりする。
- ・ ビーチボールやバレーをする。
- ・ スイカ割りをする。
- ・ 釣った魚を食べる。
- ・ 生き物取りをする。
- ・ サーフィンやカヌーを汐見の海でしたい。

以上のことから子どもは海に対して親しみと期待をもっていることが分かる。しかし一部の子どものには、なかなか海で遊べないという実態もある。大がかりな活動を期待している子どももいるようである。

このような子どものおもいや願いを生かし、多様な展開を組み立て、子どもにとって有意義な活動ができるようにしていきたい。そして、そのような活動をとおして長島の海や自然に親しみ、愛する心を育てていきたい。



過程	活動の展開	指導上の留意点
発見Ⅰ	「海にとびだせ」のオリエンテーションをとおして、これからの活動に見通しと意欲をもつことができる。『全学年』	ア 大まかな活動内容と方法を示し、子どもが見通しをもつことができるようにする。 イ プレゼンテーションソフトによる提示と事後の意識調査で、子どもが意欲的に取り組むことができるようにする。
発見Ⅱ	カヌー体験をとおして、海に親しみ、自然の壮大さを感じることができる。『3学年以上』	ア 社会教育課と連携をし、安全面・指導面で不備がないようにする。 イ 4時間使い、ある程度技能の向上を図ることで十分に海に親しむことができるようにする。
発見Ⅲ	いかだ作りやいかだ体験をとおして、海に親しみ、楽しむことができる。『3学年以上、全学年』	ア 地域の方やPTAの方々の協力をいただき、ロープ結びや竹切りを子ども自身でできるようにする。 イ 自分たちで作ったいかだに乗ることで、作る喜び、作ったもので遊ぶ楽しさも味わうことができるようにする。
発見Ⅳ	海遊びをとおして、自然に親しみ、自然の中で遊ぶことができる。『全学年』	ア 事前に話し合い活動を行い、グループングや遊ぶ内容、準備などを把握することができるようにする。 イ 地域の方やPTAの方々の協力をいただき、安全面に配慮しながら活動できるようにする。
計 画	自分たちの考えたテーマを解決するために、グループでどのような方法で調べていくか話し合い、活動の計画を立てることができる。『3学年以上』	ア グループ毎にどのような方法で調べていくか、どのようにまとめていくか話し合う活動をとおして、さらに、これからの活動に意欲をもつことができるようにする。 イ グループ毎に活動計画表を準備し具体的に計画を立てさせることで、活動の見通しをもつことができるようにする。
	活動の中で楽しかったこと、またしたいこと、気づいたことなどをまとめることを知る。『1・2学年』	ア どのようにまとめ、発表するか話し合う活動をとおして、これからの活動に意欲をもつことができるようにする。
	自分たちの選んだテーマをグル	ア 活動計画表と自分たちの活動の進

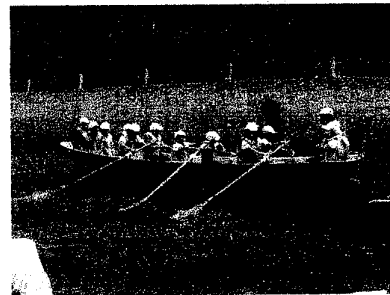
追 求	ープでいろいろな方法で調べることができる。『3学年以上』	み具合を比べることで、常に見通しをもって活動できるようにする。 イ 自分たちの調べたことを多くの人に伝えることを意識させ、まとめ方や資料を工夫することができるようにする。
	活動をとおして、伝えたいことをまとめる。『1・2学年』	ア 多くの人に伝えたいことが伝わるように、工夫しながらまとめることができるようにする。
交 流	グループや個人で調べたことをいろいろな人に伝えることができる。	ア 地域の人をはじめ、多くの人の中で自分たちの活動の成果を発表できるようにし、活動の充実感を味わうことができるようにするとともに、これからの生活化の意欲がもてるようにする。 イ 他のグループの調べた成果を理解できるようにすることで友達のよさに気付いたり、他のテーマに対しても関心をもつことができるようにする。
再発見・生活化	調べながら考えたこと、できるようになった調べ方などを日々の生活の中で生かしていくことができる。	ア 発表した内容についてお互いに意見交換をする活動をとおして、長島町のよさについていっそう興味をもち、守っていこうとすることができるようにする。 イ 調べて分かったこと、考えたことを自分の生活と比べ、自分なりの考えをもつことができるようにする。

キ 単元の活動計画（3学年以上全16時間、1・2年全5時間）

時間	活動形態	過程	子供の活動及び意識
1	全学年 一斉	発 見 I	「海にとびだせ」の活動を知ろう
			○ 楽しそうだな。
			○ 早くやりたいな。
			○ 自分にできるかな。
2 ～ 5	3学年 以上一斉	発 見 II	カヌーに乗ろう
			○ カヌーは楽しいな。
			○ 風が気持ちいいな。
			○ まっすぐ行くのは難しいぞ。

			<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと乗りたいな。 ○ 蔵之元の海もきれいだな。
6 ～ 9	3学年 以上一斉	発 見 III	いかだを作ろう <ul style="list-style-type: none"> ○ いかだ作りは楽しいな。 ○ 運んだり、結んだりきついぞ。 ○ 結んだり、切ったり難しいぞ。 ○ 大人はすごいな。 ○ いかだに早く乗りたいな。
P T A 行 事	全学年 一斉		いかだに乗ろう <ul style="list-style-type: none"> ○ いかだは楽しいな。 ○ 風や水の冷たさが気持ちいいな。 ○ ゆらゆらして少し怖いな。 ○ 海がきれいだな。 ○ またやりたいな。
若 汐 ・ P T A 行 事	全学年 一斉	発 見 IV	海で遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ○ 海は楽しいな。 ○ 風や水の冷たさが気持ちいいな。 ○ いろいろないきものがいるぞ。 ○ 海がきれいだな。 ○ またやりたいな。
10	3学年 以上一斉	計 画	調べる計画を立てよう <ul style="list-style-type: none"> ○ グループはどうなるのかな。 ○ グループのテーマはどうしようかな。 ○ どんな方法で調べようかな。 ○ まとめ方はどうしようかな。
2	1・2学 年一斉		楽しかったことをまとめる話し合いをしよう <ul style="list-style-type: none"> ○ どんなことを書こうかな。 ○ 発表の仕方はどうしようかな。
11 ～ 15	3学年 以上グル ープ	追 究	活動を思い出そう <ul style="list-style-type: none"> ○ どんなことをしたかな。 ○ こんなこともあったぞ。 自分たちのテーマについて調べよう <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書室でも調べられるぞ。 ○ 家の人にも聞いてみようかな。 ○ おじいさんやおばあさんにも聞いてみよう。 調べてきたことを分かりやすくまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ○ どんなふうに、何をまとめようかな。 ○ 他のグループの人にも分かるようにまとめよう。 ○ リハーサルもしないといけないな。
3	1・2学		楽しかったことをまとめよう

～ 4	年一斉		○ みんなに○○を伝えたいな。 ○ 大きな声で読むぞ。
学校行事 (本時)	全学年 一斉	交 流	発表会をしよう ○ 大きな声で発表するぞ。 ○ ドキドキするな。 ○ しっかりできたぞ。 ○ あのグループもがんばったな。 ○ あんないいところもあるんだ。
16 ----- 5	全学年 一斉	再 発 見 ・ 生 活 化	活動を振り返り、よかったところやうまくいかなかったところ、考えたことなどを話し合おう ○ いろいろな活動をして楽しかったな。 ○ 長島にもいいことがたくさんあるな。 ○ ○○したらもっと長島もよくなるかもしれないな。 ○ いいところをこれからも守っていこう。 ○ もっと多くの人に知って欲しいな。 ○ 次は○○をしっかりできるようになるぞ。



ク 本時

(ア) 本時のねらい

グループのテーマについて調べたことを様々な方法で発表する活動をとおして、自分たちの考えや感想を聞いている人に伝えることができるようにする。

(イ) 本時の展開にあたって

60分授業を組み、時間的に余裕をもって発表会が実施できるようにする。また、意見カードを準備し、他のグループや人の発表をしっかり聞き、よさに気付くことができるようにする。

(ウ) 本時の活動

※ ☆は評価

過程	時間	主な活動	教師の支援
導入	5'	<p>1 これまでの活動を振り返り、今日のめあてを確認する。</p> <p>発表会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の順番 ○ 発表の時の注意 ○ 意見カードの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いくつかの注意を具体的に言い、リラックスした中でしっかり発表したり、他のグループや人の発表を聞いたりすることができるようにする。 ☆ 本時の活動の見通しをもてたか。
伝える	50'	<p>2 発表会を行う。</p> <p>(1) 1・2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しかったことをや思ったことを発表する。 <p>(2) 3学年以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに調べたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会場の工夫を行い、リラックスして発表できるようにする。 ○ 教師の役割分担をして、巡視をしながら意見カードの書き方を指導したり、発表をスムーズに行ったりすることができるようにする。 ☆ 聞いている人に伝わりやすいように発表できたか。
まとめ	5'	<p>3 本時の活動を振り返り、次時の活動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの発表の反省 ○ 他のグループや人の発表のよさ ○ これまでの活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの活動の経験から次にどのような活動をすればよいか考えることができるようにする。 ☆ 次時の活動の見通しがもてたか。

(エ) 評価

グループのテーマについて調べたことを様々な方法で発表する活動をとおして、自分たちの考えや感想を聞いている人に伝えることができたか。